

Dell ObjectScale

パフォーマンスとスケールをAI時代に向けて再定義

新機能

AIに対応した操作環境 (リリース4.1)

- ユーザーが設定可能な 5 つの圧縮モードで、圧縮比/コストと速度のバランスを柔軟に調整
- さらに充実した容量ダッシュボード（アラートと使用可能な容量を含む）
- デフォルトのスペース再利用を強化
- S3 機能をさらに拡張
- TLS 1.3 暗号化のアップデート
- グローバルな VDC 全体にわたり、混在したサポート対象 ECS ノード上で稼動
- 便利なソフトウェア アップデート (ECS 3.8 以上を実行しているシステムが対象)

ObjectScale XF960 All-Flash Storage

- 現在サポートされている ECS 環境に容量を簡単に追加
- 61TB QLC ドライブのオプション
- 旧世代のオールフラッシュの最大 8 倍の密度¹
- クラスターは小規模から大規模まで拡張可能で、現在はラックあたり最大 23PB、将来的なリリースではラックあたり最大 47PB まで対応予定¹
- 最も近い競合製品と比べて、ノードあたりのスループットが最大 2 倍²
- 超高速 100 GB バックエンド ネットワーク
- ローカル キー管理による FIPS 認定自己暗号化ドライブのサポート

データは差別化要因

お客様だけが所有している豊富なデータセットと IP は、ChatGPT のどのデータよりもはるかに価値があります。お客様独自のデータ、知識、知的財産に基づいて人工知能システムを構築すれば、競合他社に差を付けることができます。なぜなら、他社が手にできないものを使うことができるからです。AI によって組織が新たな価値を得ることは確実ですが、その価値の多くは非構造化データの中に、つまり画像、動画、ソーシャル メディア データ、インターネット トラフィックなどに埋もれています。そのデータを保存して分析し、エンタープライズ アプリケーションで利用するためのコスト効果の高い方法が求められています。

現代のワークフローのためのオブジェクトストレージ

今日、データを取り巻く状況が急速に進化するなかで、オブジェクトストレージを採用する企業が増えています。その理由は、オブジェクトストレージなら AI と分析からアーカイブに至るまであらゆるものがサポートされ、優れた拡張性と、モダン アプリケーションとの統合が実現するためです。S3 プロトコルという、開発者やデータ サイエンティストが使い慣れたツールセットに合わせて構築されています。オブジェクトストレージは、堅牢なマルチクラウド戦略にも欠かせないものであり、経済面での比類のないメリットが得られます。

将来にも対応可能な Dell ObjectScale

次世代の Dell ObjectScale は、信頼されている ECS 基盤に最先端の ObjectScale オペレーティング環境を組み合わせた Dell の最新のイノベーションであり、新規アライアンス導入オプションも用意されています。多様な現代のオブジェクトワークフローを AI 時代に向けて前進させるために必要なものすべてが備わっています。ObjectScale は、業界最高のパフォーマンスを誇るオブジェクト プラットフォーム² であり、Dell AI Data Platform のコアストレージです。

ペタバイトあるいはエクサバイト規模という膨大な量のデータを制御可能で、堅牢なエンタープライズ レードの S3 ストレージ ソリューションで分散型チームがサポートされるため、ユーザーはデータの共有、アクセス、管理をシームレスに、1 つの統合されたグローバル ネームスペースの中で行うことができます。最先端の生成 AI モデルのトレーニングでも、大規模なデータレイクの管理でも、全世界のオーディエンスへのコンテンツ配信でも、ObjectScale なら比類のないスケール、パフォーマンス、効率性を提供してお客様が AI 時代に成功できるよう支援し、総所有コストも低減します。

エクサバイト規模まで 拡張可能	AI とその他のための 高速オブジェクト	さわめて高い効率性 とレジリエンス
柔軟なエンタープライズグレード の S3 ストレージに、単一の ネームスペース内でグローバルに アクセス可能	分散型チームのイノベーションを 推進する、モダンで信頼性に 優れ、ハイパフォーマンスなオブ ジェクト プラットフォーム	AI データレイクの管理と保護をシ ンプルにする、汎用性に優れ信頼で きるオブジェクトストレージ - 世界 最強のサイバーセキュリティ ³

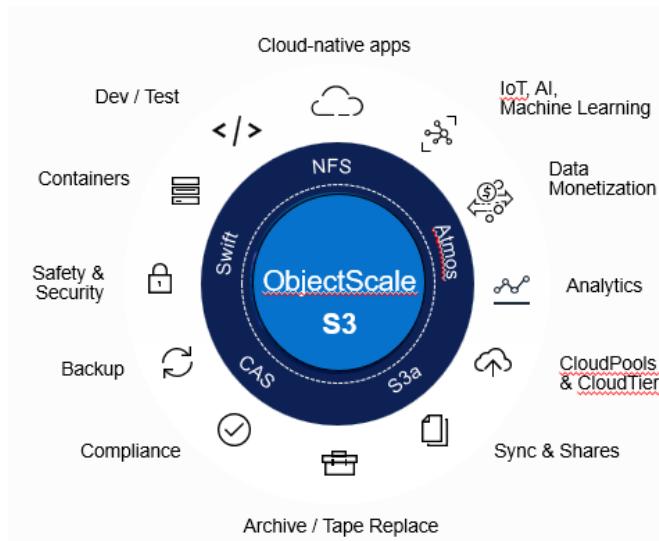
ObjectScale は、既存の ECS インフラストラクチャにシームレスに適応するように設計されています。便利なソフトウェアのみのアップデートで、現在の環境を第 4 世代の ObjectScale にアップグレードできます。または、ハイパフォーマンスのオールフラッシュ ObjectScale XF960 や、多目的な HDD ベースの ObjectScale X560 などのハードウェア構成から選択できます。組織の規模にかかわらず、そのニーズにぴったりの導入モデルが見つかります。

イノベーションに力を与える ObjectScale

ObjectScale は単なる新しいストレージ ソリューションではなく、イノベーションのプラットフォームとなります。S3 標準およびその他のクラウドネイティブのテクノロジーにグローバルに対応しているため、さまざまなアプリケーションやワークフローとシームレスに統合できます。Wasabi をはじめとする業界内パートナーシップによる拡張可能なハイブリッドクラウド ソリューションを通して、その能力がさらに拡大します。

次世代のオールフラッシュ オブジェクトストレージである ObjectScale XF960 で、AI のインサイトとイノベーションを大幅に向上させることができます。または、ObjectScale X560 を選択して、ラックあたり最大 9PB の多目的ストレージ容量、および旧世代と比較して最大 83% 高速化された読み取りスループット⁴ を達成できます。複雑な AI モデルのトレーニングでも、大規模なデータセットの管理でも、ObjectScale の進歩を活用すれば、AI とデータのワークフローがこれまでになく速く、効率的になります。

エクサバイト規模まで拡張可能



無限のスケール：スケールアウト型、地理的分散型のアーキテクチャを採用している ObjectScale なら、データセンターをどこに配置するかにかかわらず、データの急増にも簡単にに対応できます。パブリッククラウド規模でプライベートクラウド インフラストラクチャの信頼性とコントロールを活用し、新しいノードを簡単に追加し、ワークロードに対応できます。

グローバルにアクセス可能：ObjectScale のマルチサイト フェデレーションと copy-to-cloud の機能を使用して、グローバルにアクセス可能なコンテンツ リポジトリを作成できます。サポート対象のアプリケーションやユーザーの近くにストレージを導入すれば、レイテンシーを最小限に抑え、タイムトゥバリューを短縮できます。独自のレプリケーション機能と組み合わせ、多大なストレージ オーバーヘッドを発生させることなく、地理的に分散した場所のクライアントが同じデータにアクセスできます。

モダンデータレイク：S3、S3a、NFS など、マルチプロトコル サポートと相互運用性に優れているため、大規模な拡張が可能な多目的データレイクを構築し、モダン アプリケーションや分析イニシアチブを実行できます。1 つのプロトコルを通じて取り込まれたデータに他のプロトコルからアクセスできるため、既存のアプリケーションを再設計する必要がなく、タイムトゥバリューを短縮できます。

シンプルな管理：1 人の管理者が一元化された直感的な GUI と組み込みのレポート機能を使用して、数十億のオブジェクト、数百のテナント、ペタバイト規模のデータを低負荷で管理できます。また、ObjectScale には多数の REST ベースの管理 API も用意されているため、既存の管理およびディレクトリ ソリューションにシームレスに接続できます。

AI とその他のための高速オブジェクト

AI のパフォーマンスに合わせて最適化：ObjectScale のハイパフォーマンス オブジェクトストレージで、自社のイノベーション サイクルを加速しましょう。AI ワークロード専用に設計されているため、リソースを大量に消費するプロセス（モデルトレーニング、チェックポイント作成、推論など）での卓越したスピードと信頼性が実現します。さらに高速のデータアクセスによって分散型チームをサポートする ObjectScale なら、組織の限界を押し広げて画期的な成果を達成することが、これまで以上に迅速になります。

包括的な S3/マルチプロトコル サポート：ObjectScale は強力な S3 およびマルチプロトコル サポートを提供し、データ サイエンティストと開発者が必要なデータに簡単かつ迅速にアクセスできるようにします。ObjectScale の S3 互換性は市場トップ レベルです。⁵

オールフラッシュのパワー：S3 のシンプルさと瞬時のパフォーマンスをオールフラッシュ、NVMe ベースの SSD アプライアンスで両立する ObjectScale は、現代のワークロード（生成 AI、データ分析、データレイク/レイクハウス、IoT ストレージ、メディアコンテンツ配信など）に最適なデータストアです。ObjectScale を GPU サーバーのストレージとして使用すればスループットが最適化されるため、トレーニング アルゴリズムとアプリケーションにこれまで以上に多くのデータを迅速に供給できます。

さらにシンプルになったデータ管理、さらに速いインサイト：ObjectScale は、Dell AI Data Platform のコア ストレージです。このプラットフォームには、AI と分析ワークロードの要求に応える堅牢なデータ管理機能が統合されているため、最先端の ObjectScale オペレーティング システムに裏打ちされた、さらに迅速な処理とインサイト発見が可能になります。

信頼されるテクノロジー

ObjectScale は、エンタープライズクラスのセキュリティが特長であり、お客様が保護、検出、対応を大規模で実行するうえで役立ちます。世界最高のサイバーセキュリティを誇るオブジェクトストレージである ObjectScale には、数十年にわたって信頼されているデル・テクノロジーズの非構造化データストレージにおける経験が活用されています。実際に、商用 CAS ベースのシステム (EMC Centera) を初めて販売したのもデル・テクノロジーズであり、Gartner のファイルおよびオブジェクトストレージ プラットフォームの Magic Quadrant では 9 年連続でリーダーとして評価されています。⁶

きわめて高い効率性とレジリエンス

比類のないセキュリティ：お客様のビジネスの最も重要なデータを保護するために、ObjectScale には高度なセキュリティ機能（モダンな暗号化、強化されたロギング機能、組み込みの ObjectLock テクノロジーなど）が採用されています。ゼロトラスト アーキテクチャに基づいて構築された ObjectScale なら、お客様の情報が不正アクセスやランサムウェアの脅威などのサイバーリスクから安全に守られるため、安心してオペレーションを拡大できます。

組み込みのデータ保護：ネイティブの保護機能（D@RE、消失訂正符号、強力な整合性、フォールトトレランス、トリプルミラーリングなど）を備えた ObjectScale なら、データセンターの地理的位置にかかわらず、データは常に安全性が確保され、リカバリー可能です。オブジェクトのタグ付けによる IAM のサポートにより、不正アクセスからデータが保護されます。包括的なサイバーレジリエンス機能により、エア ギャップ経由でデータをサイバーボルトに分離したり、攻撃イベントをリアルタイムで検出したり、バージョン管理を利用してサイバー攻撃から復旧したりできます。

「Dell ObjectScale なら、ペタバイト規模の重要でかけがえのない研究データが自然災害やサイバー攻撃に遭遇したときでも、すばやく復旧できます」

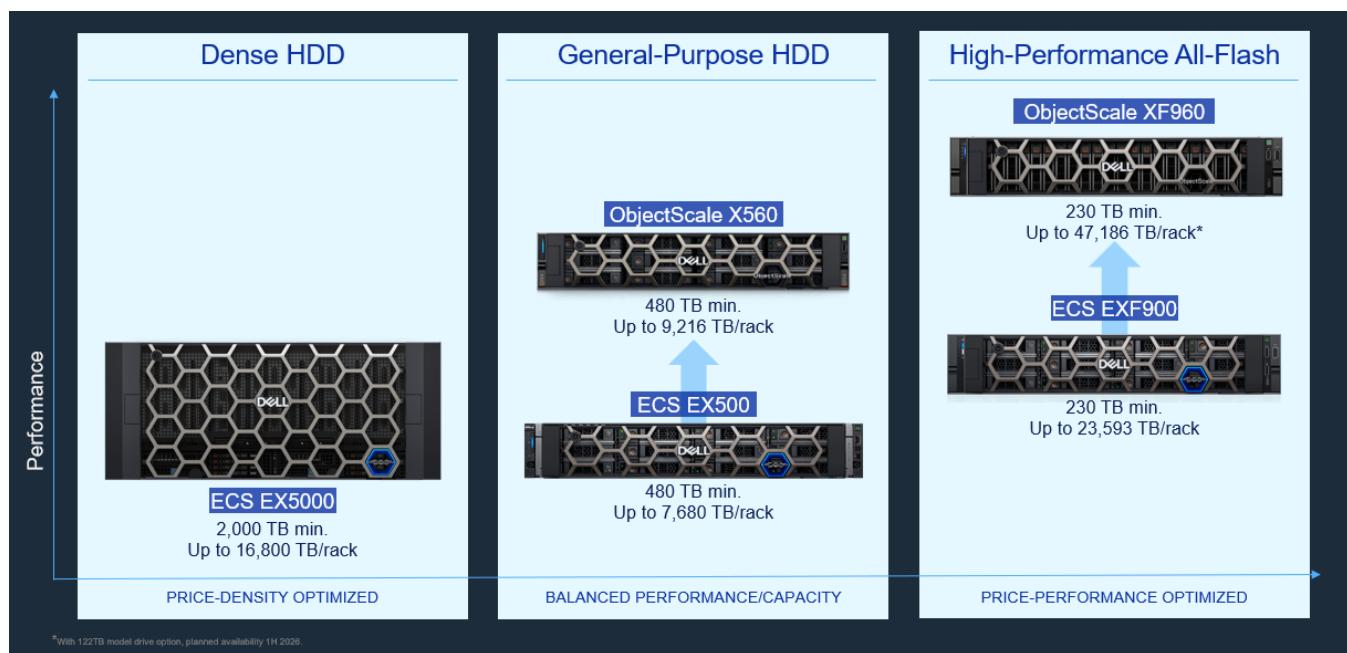
オレゴン州立大学
海洋観測イニシアティブ、CI システム プロジェクト マネージャー
Craig Risien 氏

コンプライアンス基準の遵守：リテンション、インデックス作成、レプリケーション、ロギングの高度な機能を備える ObjectScale は、お客様の組織が内外のコンプライアンス要件、たとえば GDPR（一般データ保護規則）、SEC、CFTC、STIG を満たすうえで役立ちます。WORM 機能によって、機密データの改ざんを防止しています。

TCO の低下：エンタープライズ規模、パフォーマンス、汎用性を備えた ObjectScale では、主要パブリッククラウド プロバイダーと比較して大きなコスト削減が可能であり、総所有コストを最大 76% 低減します⁷。ObjectScale なら、パブリッククラウドに伴う多くの課題、たとえばデータ移行コスト、レイテンシー、予測できないデータ アクセス パターン、クラウド ベンダー ロックイン、セキュリティとコンプライアンスに関する問題などを排除できます。

セカンダリー ストレージ：コスト効果に優れたセカンダリー ストレージ層として ObjectScale を利用すれば、高コストのプライマリー ストレージがビジネスクリティカルなアプリケーションのために解放されると同時に、長期保管されるデータが従来のテープ アーカイブに比べてアクセスしやすくなります。

ObjectScale は、デル・テクノロジーズのポリシーベースの階層化ソリューション（ObjectScale GeoDrive、PowerScale CloudPools、PowerProtect DD Cloud Tier など）および多数のサードパーティーゲートウェイのターゲットとして最適です。



ObjectScaleのポートフォリオ

プロフェッショナル サービスとサポート

ObjectScale では無停止アップグレードが可能であり、基盤となるストレージ ハードウェアが時とともに進化しても、確実に運用を続けることができます。レガシー アプライアンスを交換する際も、ObjectScale ならデル・テクノロジーズのプロフェッショナル サービス エキスパートによりデータインプレース アップグレードが実施されるため、お客様の投資が保護されます。

最も要求の厳しいワーカロードに対して、環境全体の生産性を最大限に向上させるためのサービスを多数ご用意しています。計画から導入と最適化、トレーニングとプロフェッショナル認定資格に至るまで、グローバルな ObjectScale エキスパートのチーム、業界をリードするツール、自動化されたプロアクティブなサポートをご利用いただけます。

生産性発揮までの時間を短縮できるように、Dell ProDeploy と ProDeploy Plus が用意されており、導入に要する時間が最大 3 分の 1 になります⁸。問題が実際に発生する前に特定して解決できるように、ObjectScale には Dell ProSupport または ProSupport Plus サービスが付属しており、最初の 90 日間のサポートコール数が最大 58% 減少しています⁹。このサービスは、ハードウェアとソフトウェアのプロアクティブで予測的なサポートを包括的に 24 時間 365 日体制で提供します。自動ケース作成も可能で、4 時間以内のミッションクリティカルなオンラインサイト ハードウェア対応も選択でき、オペレーティング環境のソフトウェア アップグレードも含まれています。どのサービスがお客様のニーズに最適かについて、詳しくはデル・テクノロジーズの担当者にお問い合わせください。*

*サービスの提供内容とサービス条件は国によって異なります。

将来を見据えたプログラム

ObjectScale は [Future-Proof Program](#) の一部です。このプログラムは一連の保証、オファー、および約束を通して、お客様が IT ライフサイクルを最適化できるように設計されています。このプログラムでは、成果を保証し、ROI を最大化し、IT の将来を見据えた対応ができるように支援することで、ライフサイクルの最初から最後までお客様にサポートを提供します。このプログラムを利用することにより、雑多な作業をデル・テクノロジーズに任せて、重要なビジネスニーズに専念できます。

次のステップをご紹介します

Dell ObjectScale は、AI 時代におけるデータストレージの可能性を再定義します。堅牢なパフォーマンス、比類のないレジリエンス、拡張可能な設計を備え、AI とデータのワークフローを加速させたいと考える企業に最適な究極のプラットフォームです。お客様の重点領域がイノベーションの加速、生産性の向上、将来も活用できるインフラストラクチャ構築のいずれであっても、ObjectScale なら成功のためのツールと柔軟性が得られます。

ObjectScaleがお客様の組織にどのようなメリットをもたらすことができるかについては、デル・テクノロジーズのセールス担当者または認定販売店にお問い合わせください。また、[ObjectScaleのWebサイト](#)ではAIの時代に向けてイノベーションを推進するObjectScaleの詳細情報を用意しています。ぜひご覧ください。

1. ObjectScale XF960 で予定されている最大ドライブ容量オプションと ECS EXF900 で使用可能なドライブ容量オプションを比較した Dell の分析（2025 年 7 月）に基づいています。
2. 出典：2025 年 3 月時点の一般公開データの Dell 社内分析に基づきます。Dell のパフォーマンスは、ノードあたりのラージ オブジェクト読み取りスループットとクラスター構成（ObjectScale XF960 と Ethernet ネットワーキングを使用する構成）に基づいています。実際の結果は異なる場合があります。
3. Dell ObjectScale で提供されるサイバーセキュリティ ソフトウェアの機能を競合製品と比較した Dell の分析（2025 年 3 月）に基づきます。
4. ObjectScale X560 (4.0) と ECS EX500 (3.8) のスマール オブジェクト読み取りを比較した Dell の分析（2025 年 3 月）に基づきます。実際の結果は異なる場合があります。
5. サポートされている S3 API コマンドに関する一般公開情報の Dell 社内分析（2025 年 3 月）に基づきます。
6. Gartner®『Magic Quadrant™ for Distributed File and Object Storage Platforms』(Chandra Mukhyala, Julia Palmer, Jeff Vogel, 2024 年 10 月 8 日)
7. デル・テクノロジーズ協賛の ESG Economic Validation、『Analyzing the Economic Benefits of Dell ECS: Economic Benefit Analysis of on-premises Object Storage versus Public Cloud』、Tony Palmer, 2022 年 7 月。アクティブ ストレージのシナリオで、ECS と主要なパブリッククラウドを ESG で比較した場合のコスト削減。実際の結果は異なる場合があります。
8. Principled Technologies による 2023 年 5 月の調査『Using Dell ProDeploy Plus Infrastructure can improve deployment times for Dell technology』に基づきます。
9. 2022 年 2 月～2022 年 7 月のサポートデータの Dell 社内分析（2022 年 7 月）に基づきます。



Dell ObjectScaleソリュー
ションの[詳細はこれら](#)



デル・テクノロジーズ エキスパート
への[お問い合わせはこれら](#)